

マンゴウ

学名 *Mangifera indica*
 科名 ウルシ
 別名
 区分 まちかど しょくぶつ
 街角の植物
 分布 インド北部からマレーシア
 げんさん
 原産

葉の形 けつ だえんけい
 結おう楕円形
 葉の縁 ぜんえん
 全縁
 葉の先 えいせんけい
 鋭尖形
 葉の種類 たんよう
 単葉
 葉の付方 ごせい
 互生
 葉の基部 くさびがた ぜんせんけい
 形、漸尖形
 実の種類 えきか
 液果
 花・萼色 おうはくしよく
 黄白色



せつ めい 説 明

じょうりよくだいこうほく は ごせい ようへい よう
 常緑大高木で葉は互生し、3-7 cmの葉柄があり、葉
 しん ちょうひしんけい ぜんえん なが はば かくしつ
 身は長被針形で全縁、長さ 10-30 cm、幅4-10 cm、革質
 ひょうめん のうりよくいる こうたく うらめん きみどりいろ
 で表面は濃緑色で光沢があり、裏面は黄緑色でわず
 こうたく えだはし なが えんすいかじよ
 かに光沢があります。枝端に長さ 10-40 cmの円錐花序
 かじつ えきか がつ がつ じゆく こう
 をつくります。果実は液果で5月から10月に熟し、広
 らんけい かたち
 卵形の形をしています。